

C 2024/10/26(土)13:50-16:50

「腎機能に基づいた薬物治療マネジメント ～医薬品情報を読み解く～」

「悪性腫瘍と腎障害～薬剤師への期待」

講座情報

「腎機能に基づいた薬物治療マネジメント ～医薬品情報を読み解く～」

大野 能之

添付文書や書籍等に腎機能低下時の投与量や注意点に関する情報が記載されていることがあります。その情報が無い場合、あるいは腎機能がちょうど投与量調整の境目で判断が難しい場合はどうしたら良いでしょうか。また、そもそも記載されている投与量は本当に目の前の患者に妥当な量でしょうか。薬剤師は薬物の腎排泄の割合を適切に評価して、腎機能低下時の薬物動態やリスクがどのようになるのかを定量的に見積もれることが大切です。本講義では、腎機能に基づいた適切な薬物治療マネジメントのために、医薬品情報をどのように読み解いたら良いのかを解説したいと思います。

《学習到達目標》

- ・腎機能の評価方法を理解する。
- ・薬物のクリアランスを理解する。
- ・薬物の腎排泄機構を理解する。
- ・薬物の腎排泄の寄与率を評価できるようになる。
- ・腎機能低下時の薬物投与設計及びマネジメントの基本を理解する。

「悪性腫瘍と腎障害～薬剤師への期待」

松原 雄

我が国で、がん(悪性新生物)が死亡原因の一位となり約 50 年が経過した。薬学分野においては、がん治療薬の進歩は目を見張るものがある一方で、見たこともない腎有害事象も出現し、解決すべき課題の一つになっている。また、生活習慣病や患者の高齢化にともなって、慢性腎臓病が国民病と言われるまでになったが、腎機能に応じたがん治療薬の用量調整が大きな問題となっている。このように、「がん薬物治療中の腎障害対策」「腎機能低下患者に対するがん薬物治療」は、腫瘍学(Oncology)領域と腎臓病学(Nephrology)領域を横断する問題として取り組む必要があり、Onco-Nephrology という造語が生まれた。本講座では Onco-Nephrology において薬学的に留意すべき点や今後の課題について紹介したい。

《学習到達目標》

- ・がん治療薬による腎障害の臨床的特徴、病態、対策を理解する。
- ・がん患者の腎機能評価方法やその問題点を理解する。
- ・がん治療薬の腎機能に応じた用量調整法とその問題点を理解する。

講演者情報

腎機能に基づいた薬物治療マネジメント ～医薬品情報を読み解く～

大野 能之

東京大学医学部附属病院 薬剤部 副薬剤部長

プロフィール

<略歴>

1997年 東京薬科大学薬学部 卒業
1997年 東京大学医学部附属病院 薬剤部 研修生 入部
1998年 帝京大学医学部附属市原病院 薬剤部
2000年 東京大学医学部附属病院 薬剤部
2005年 東京大学医学部附属病院 薬剤部 薬品情報主任
2009年 東京大学医学部附属病院 薬剤部 助教
2009年7月 博士(薬学)取得(東京大学)
2015年1月 東京大学医学部附属病院 薬剤部 副薬剤部長

<認定資格>

日本医療薬学会 医療薬学専門薬剤師
日本医療薬学会 医療薬学指導薬剤師

<所属学会・委員等>

日本医療薬学会 代議員、学術第四小委員会副委員長
日本医薬品情報学会 理事、代議員、学術委員会委員長、フォーラム委員会委員
日本腎臓病薬物療法学会 評議員
東京都病院薬剤師会 常任理事、広報出版部部長
日本薬学会
日本透析医学会

<受賞歴等>

日本医療薬学会奨励賞(2012年)

悪性腫瘍と腎障害～薬剤師への期待

松原 雄

京都大学大学院 医学研究科 腎臓内科学講座 講師

プロフィール

<略歴>

1996年 京都大学医学部 卒業
2007年 京都大学医学部附属病院 腎臓内科学 助教
2014年 京都大学大学院医学研究科 腎臓内科学 講師
2024年 現職

<認定資格>

日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医

日本腎臓学会 専門医・指導医・学術評議員

日本透析医学会 専門医・指導医・評議員・医療事故調査委員

日本アフレーシス学会 専門医・評議員

<所属学会・委員等>

日本腎臓学会 オンコネフロジーワーキンググループ委員

主要著書・参考文献

がん薬物療法時の腎障害診療ガイドライン 2022 (ライフサイエンス社)